

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、血液内科では、以前に「造血細胞移植および細胞治療の全国調査」（日本造血・免疫細胞移植学会との共同研究）のご協力者からいただいた診療情報等を使って、下記研究課題を新たに下記の共同研究機関と協力して実施するために、診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この新たな共同研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この新たな共同研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 同種造血幹細胞移植後の類洞閉塞症候群に対するDefibrotideの有効性・安全性の検討

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：北海道大学病院 血液内科 教授 豊嶋 崇徳
本研究に関する問い合わせ先：北海道大学病院 血液内科 白鳥 聡一
電話：011-706-7214（応対可能時間：平日9時～16時）

[利用・提供の対象となる方]

日本国内で造血幹細胞移植を受けた患者さんで「造血細胞移植および細胞治療の全国調査」（日本造血・免疫細胞療法学会）への協力にご同意いただいている方、且つ類洞閉塞症候群を発症された方

[利用・提供している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、疾患情報（診断名）、移植情報（HLA、移植前疾患状態、移植前処置、移植片対宿主病（GVHD）予防法、生着の有無、GVHDの有無、非再発死亡の有無、再発の有無、最終転帰、類洞閉塞症候群の詳細（重症度、臓器障害、Defibrotideの投与開始日・投与量・投与日数、Defibrotide中止後の後治療、有害事象、SOSの転帰、最終転帰、Defibrotide治療開始前後における各種検査所見）、「造血細胞移植および細胞治療の全国調査」で得られた情報

[利用・提供の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

類洞閉塞症候群に対するDefibrotideの有効性・安全性の検討を目的とした共同研究実施

[主な共同研究機関及び研究責任者]

- ・自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科 准教授 仲宗根 秀樹
- ・国立成育医療研究センター 小児がんセンター 移植・細胞治療科 診療部長 坂口 大俊
- ・横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻 准教授 田野島 玲大
- ・慶應義塾大学病院 血液内科 専修医 増田 恭子
- ・日本造血細胞移植データセンター センター長 熱田 由子
- ・神戸大学大学院医学研究科 腫瘍・血液内科学分野 薬師神 公和 市川 大哉

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究機関長の許可日より2026年3月31日までの間（予定）

提供方法：☐直接手渡し ☒郵送・宅配 ☒電子的配信 ☐その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 岩本絹子

研究責任者：東京女子医科大学 血液内科 教授 瀬尾 幸子

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 講師 篠原 明仁

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日 9 時～16 時）